

AG5

補習授業校情報交換会 # 18

補習授業校の特別支援

<各地の開始時刻>

(12月27日)

USハワイ時間	11:00AM
US太平洋時間	1:00PM
US山岳部時間	2:00PM
US中部時間	3:00PM
US東部時間	4:00PM
ポルトガル・英国等	9:00PM
仏・独・北欧等	10:00PM

(12月28日)

タイ・ベトナム等	4:00AM
シンガポール・中国等	5:00AM
日本時間	6:00AM
グアム等	7:00AM
ニュージーランド	10:00AM



<画面の設定>

右上/左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。

**スピーカー・ビュー**

話している人が大きく見えます。

**ギャラリー・ビュー**

多くの参加者の表情が見えます。

出席者所属校

アイダホ	シュツットガルト	マーストリヒト
インディアナ	シンシナティ	ミネアポリス
ウィーン	ダラス	ミネソタ
ヴィエンチャン	デュッセルドルフ	ミュンヘン
エドモントン	デンバー	ミラノ
オースチン	ニューオリンズ	目白大学
オマハ	ハイデルベルク	ユタ
カンザスシティ	ピッツバーグ	リッチモンド
グリーンビル	ヒューストン	リヨン・ジェルラン
コペンハーゲン	フィラデルフィア	ロチェスター
コロラド	プリンストン	ワシントン
コロンバス	ベルリン中央学園	

本日の予定

1. 資料説明
2. 質疑・意見交換

*終了後 15 分程度、小グループで自由に話し合う「自由交流会」を持ちます。お時間のある方はご参加ください。

◆ これからの情報交換会

#19 補習授業校の継承語クラス／国際クラス

1月10日（日） US 中部 3:00PM／独仏等 10:00PM

11日（月） 日本 6:00AM／ニュージーランド 10:00AM

#20 小規模補習校の授業と運営

1月27日（日） US 中部 3:00PM／独仏等 10:00PM

28日（月） 日本 6:00AM／ニュージーランド 10:00AM

リクエスト等は、nsassaykhm@me.com 佐々まで。

◆ AG5 授業研究会

1月17日 ダラス 小1,2,3 国語・生活「馬のおもちゃの作り方」

・申し込み等詳細については「補習校教員交流 Facebook」でお知らせいたします。

◆ 録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングを録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。思わず言ってしまったことで後で心配になるようなことがないよう、リラックスして発言していただくためですので、ご理解をお願いいたします。AG5 で実施する授業研究会等のイベントでは、一定期間録画を視聴していただける場合もあります。

◆ ごらんください。

AG5 補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5 ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流 Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団 (JOES) <https://www.joes.or.jp>

◆ 出席者と連絡を取りたいとき

ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。



ここが聞きたい

◎学習障害や発達障害の児童がクラスに毎年1人2人はいるように感じております。いつも、どう対応したら良いのか、保護者にどう話を持っていったら良いのか、そして成績の付け方に常日頃から疑問に思っております。

◎恐らく、日本ならば、特別支援学級で学習した方が良いのでは？と思う生徒を数名指導してきました。保護者の方の感覚として、補習校なら普通クラスの生徒と一緒に学べるというお気持ちがあるようです。テーマにあるように、成績のつけ方、生徒・保護者への接し方はとてもデリケートな問題で、諸先生方の対応を学びたいと存じます。

◎クラスに gifted で視覚情報処理能力が高過ぎるが為に、聴く力が劣ってしまう生徒や集中力のない生徒がおります。現在オンライン授業の為保護者が監督しております。今後の接し方等を学びたいと思います。

◎AG5のこれまでの成果をまとめた本が出版されました。



「海外で学ぶ子どもの教育 - 日本人学校、補習授業校の新たな挑戦」

(佐藤郡衛ほか著、明石書店)

[Amazon リンク](#)



各校から

♣補習校チーム *****

事前に見ていただくと参考になるかもしれません。

「国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター」

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

(近田由紀子)

♣ダラス *****

ダラスでいただいた資料です。画像の上か、文字のリンクをクリックしてスライドをごらんください。

(教務 ウッドアード恵利香)

今すぐできる
誰でもできる
補習校でもできる！
特別支援教育

小野 友紀



<https://drive.google.com/file/d/1ZFPHVKxaub9DH2MjDGwkQW1P2TO5HQ2V/view?usp=sharing>

海外に在住する邦人家族と
特別な配慮を要する
児童・生徒への支援

クリスタル・チルドレン
佐々木 恭子



https://drive.google.com/file/d/1aj7W_ZNB85QG7v7Ebi8Mk2QUa71fQq3B/view?usp=sharing

【**秘**取扱注意】授業参観記録

児童について【担任事前記入】

児童名(イニシャル)	年 組 氏名
診断名(医師からの診断がある場合)	
医療機関・その他専門機関名 (医療機関等にかかっている場合)	
保護者の意識や願い	

児童の実態及び課題【担任事前記入】

	学習面(言語・知的能力)	心理・社会面(生活の様子・授業態度)
よいところ 得意なこと		
課題・気になること 援助が必要なこと		
今までの 支援方策		
自由記述(相談したいこと、次年度担任へ引継ぎたいこと、その他)		

(担任氏名)

授業参観結果【参観者記入】(所見、必要な支援と配慮、その他)

参観日()月()日()限 教科・内容()

(参観者氏名)

♣ コロンバス * * * * *

日本の小学校で研修に使われた資料をご紹介します。(校長 岡本 健)

PART 1 わかぬ問題が基本 1

4 最後までやりとげることが難しく、途中でやめてしまうことが多い

ヤスシくんは、大抵元気な男の子です。しかし、最後までやりとげられないことが多いです。困っています。
例えば、算数の計算プリントの問題数が多くと最初からやる気はなくし、「こんなになんかできない」とやめてしまいます。問題数が少なくて1周目ができないと、「難しい

とできてはい」とおきらめてしまいます。算数の問題をやることも、なかなか進みません。途中でやめてしまうのは学習面だけではありません。清掃活動ではすぐに遊び出してしまいますし、隣の仕事をいつのまにか違うことをやってしまうので進捗から注意されてしまいます。

なぜだろう？

最後までやりとげられない原因として次のようなことを考えてみました。
<個人の特性に起因する難しさとして>
・一度に多くの問題に出会うたり、最初の問題が難しかったりすると、見通しが持てなくなる。
・気になることや興味をそえられることがあると、ついそのことをしてしまう。

工夫してみよう

ヤスシくんが、少しでも見通しを持って課題に取り組めるように、次のような方法を考えてみました。
・問題の分量や順序を調整する。
・途中でチェックポイントを作って、そこまでがんばるという中間目標を決める

やってみよう

先生は、ヤスシくんは課題を与えるときに、できるだけ1枚のプリントに乗せる問題数を少なくしたり、最初の問題は比較的やさしい問題にしたりしました。また、問題数の多いプリントをさせるときには、プリントを折って渡し、「まず、これだけやってみよう」「つぎはこれだけ」といくつかに分けて実施するようにしました。また、清掃のときには「この列の机がふけたら知らせてください!」次はここをしましよ

・どこですればいいのかわからないために、自分なりの判断で勝手に終わってしまう。(指導する側の要因として)

「これくらいならやれる」という見通しの持てない量をさせようとしている。

・何をするか、どこですれば終わりのかという指示が具体的でない。

・何をすればいいのか、どこですればいいのか、を具体的に指示する。
・まわりに気をとられる物が少なく、指示の出しやすい環境から指導を始める。

う」と、内容を細かく区切って取り組ませる

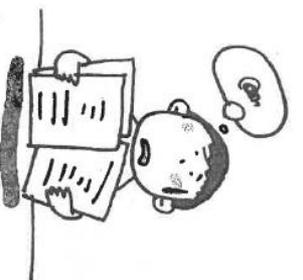
ようにしました。また、その都度「エッ、なに」と与えられた仕事をきかんとやりとげた様子を確認するようにしました。
「がんばり」
こうした指導を続けていくうちに、問題数の少ないプリントならやりとげることができるようになりました。問題数が多いときには、「ここまででいいですか?」と先生の許可をもらってから課題を始めることもできるようになりました。

なりました。そして、清掃当番などでも、決めたもらった仕事を最後までやり終えることができるようになっていきました。

なぜうまくいったのか

物事を最後までやりとげられない原因には、次のようなことが考えられます。
・量が多すぎて、見通しが持てない。
・課題が難しすぎる。
・集中が続かず、ほかのことに気をとられてしまう。
・どこですれば終わりのかが理解できていない。

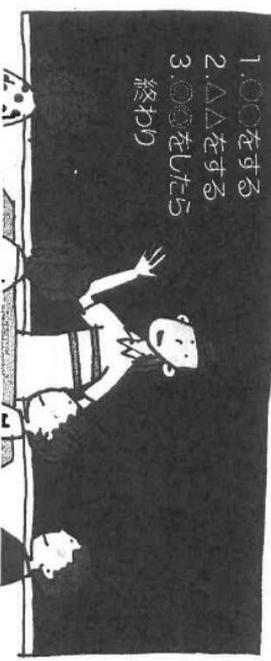
ヤスシくんの場合、量や難易度を調整してもらうことで、「これだけだったらできる」「この問題ならかんたんそうだし」という見通しを持って取り組むことができるようになっていったと考えられます。



こんな工夫も

子どもたちに課題を与えるときには、黒板に
①○○をする。②△△をする。③最後に○○をしたら終わり……と、いつでも確認できるようにわかりやすく板書しておく。また、子どもたちにもわかりやすい指示となります。ほかの子

どもたちが見通しを持って取り組むことができると、教師は配慮を必要としている子どもへの支援により多く当たることができます。



PART 1 わかる授業が基本!

9 何をすればよいかわからないと固まってしまう

ヒサジくんは小学1年生。入学式の当日、式が始まるため体育館へ入場しようとしていたが、その場から動こうとしませんでした。手を引かれたり手を引く振りをして移動させようとしたが「何があつたの?と聞かれては答えず、黙ったままじっとしてしまいました。その後、学校生活の中でも、初めてのことが多く、先生のやぶやぶな説明が理解がけたり、



動かせようと背中を押したり、手を引いたりしましたが効果が現れませんでした。

なぜだろう?

ヒサジくんが固まってしまう原因について考えてみました。

- ・個人の特性に起因する難しさとして
- ・初めての場所や初めてすることに大きな不安を感じ、
- ・ひとつひとつ何をすればよいかわからないと行動にできない。
- ・一度にたくさんさんの質問をされると何が答えられているかわからなくなる。
- ・困っていることやそのときの気持ちを伝えることができない。

工夫してみよう

ヒサジくんが何をするとよいかわかり、初めてのことも安心して活動できるよう、活動の見通しを持たせ方を考えて、工夫してみました。

やってみよう

そこで先生は、活動を始めるときどんな活動をするのか、目的とその手順を示すことにしました。

〈指導する側の要因として〉

- ・どんなことをするのか見通しをもたせず活動を始めた。
- ・固まってしまった状態に困って次々質問した。
- ・とにかくみんなと一緒に行動させようとして、無理やり体を押ししたり手を引っ張ったりした。
- ・ヒサジくんのまわりに多くの友達が集まってきた。

・どんな手順で活動をするか提示する。

- ・活動の終わりを明確にする。
- ・初めての場所は一度下見をする。
- ・初めての活動は一度見本を見せる。
- ・困っていることや自分の気持ちを伝える方法を身につけさせる。

国語科や算数科は学習内容によってはやり方や手順がはっきりしています。パターンが決まっていると安心して活動ができるようになってきました。

できました。自分でできた、と認めることでヒサジくんが自信を握ってきかようです。

また、生活科や図画工作科のような今まで経験したことのない活動をする場合、活動の目的をわかりやすく示したり、完成作品のモデルを提示したりしました。そして、活動の手順を黒板に板書しました。板書するだけでなく手順を書き記したカードにしたり、ワークシートにし

なぜうまくいったのか

何をすればよいかわからないと固まってしまう要因には、次のようなことが考えられます。

- ・計画を立てたり、計画を実行したりすることが苦手。【実行機能の問題】
- ・予定と違う状況になると不安になり、パニックを起こす。【固執性の問題】
- ・全体を見ることができず、一部だけに反応する。【刺激の過剰選択性の問題】
- ・失敗経験が多く、自己肯定感を得にくい。【学習意欲の問題】

ヒサジくんの場合は、初めての場所や活動に強い不安感を持つようでした。活動の目的を明確にして、手順を示すことで活動の見通しを持って、何をすればよいかわかり、安心して活動を進めることができるようになってきました。また、スモールステップで“できたこと”を評価していただくことで、自己肯定感を得ることもできました。

こんな工夫も

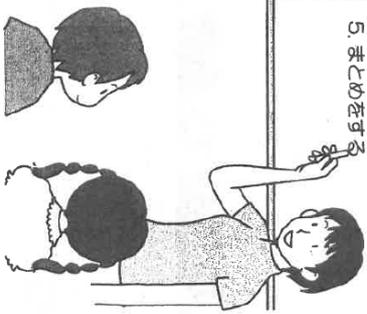
さらに、何をすればよいかわからないとき「固まってしまうのではなく伝える方法を身につけるように工夫することも必要でしょう。

できなくて困ったときに、「カードやハンドサインなど含む図画工作科のモデル」を決めて先生に伝えられます。さらに、「サインを言葉に変えて伝えられるようになるよう「わからないので教えて」など、伝える方を身につけていけるようにしたいものです。

たりしました。ほかの児童もそれを手がかりにスムーズに活動することができました。

さらに、初めての場所で不安を感じるようなときは無理強いせず、まず活動を観察させてから場に慣れさせたり、教室などの本人が安心できる場所で練習したりして、スモールステップでできるようにしていきました。

1. めあてをきめる
2. よむ
3. かく
4. もんだいをとく(5もん)
5. まとめをする



また、手順を示すときには、その子の言語理解のレベルを知る必要があります。単語で理解できるか、文で表して理解できるか、さらに、絵や写真のほうを理解できるかというように、その子の発達段階によって違ってくるように、その力に合った指示の出方を工夫していきたいものです。